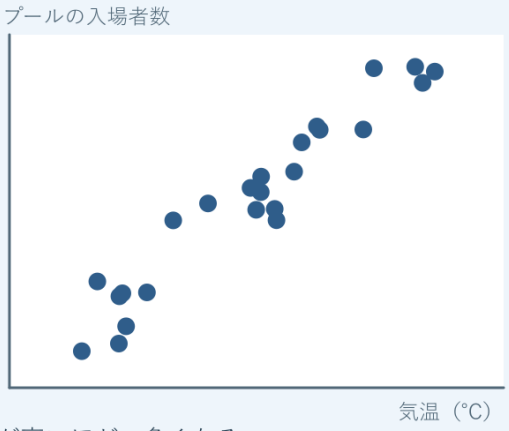
散布図と相関（相関と因果のちがい）

2つのデータの関係は、散布図からどのように読み取れるだろう

正の相関

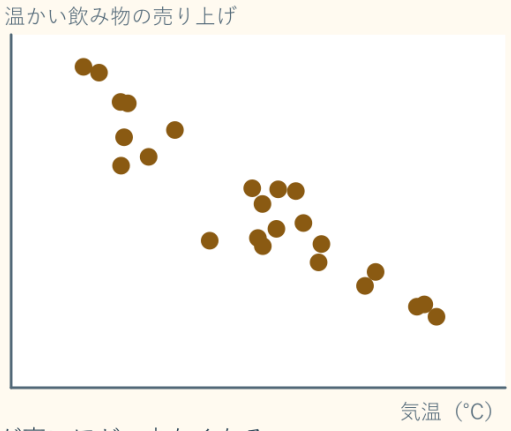
相関係数 約 0.96



気温が高いほど、多くなる

負の相関

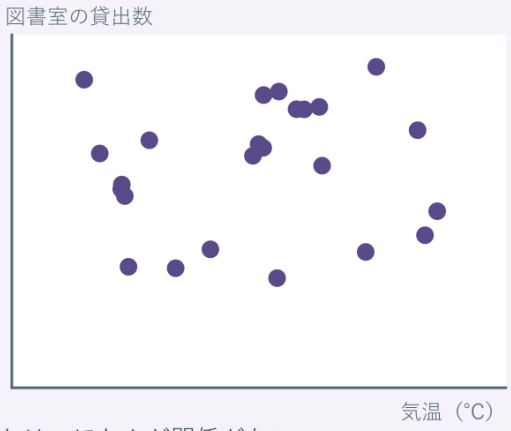
相関係数 約 −0.93



気温が高いほど、少なくなる

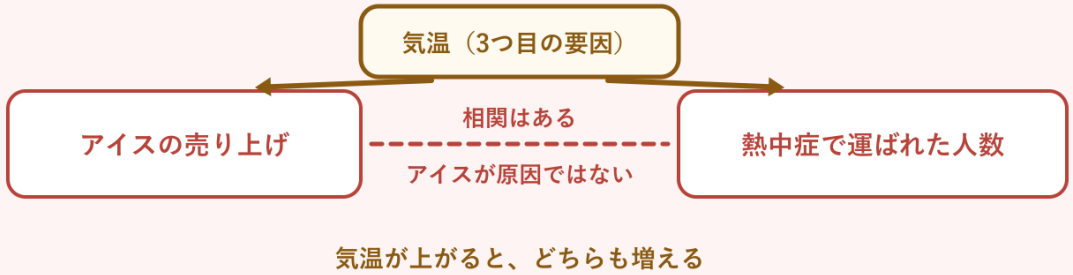
相関がほとんどない

相関係数 約 0.07



気温とは、ほとんど関係がない

相関があっても、原因と結果（因果）とは限らない



気温が上がると、どちらも増える

データを読むときは

- ほかの要因（3つ目の要因）がないか考える
- たまたま重なっただけではないか考える
- 原因を確かめるには、条件をそろえた調査や実験が必要

※ 模式図。散布図のデータと相関係数は架空（乱数で作った例）。